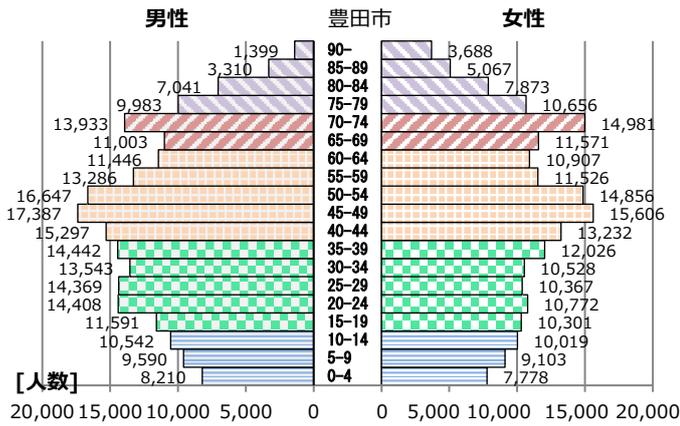


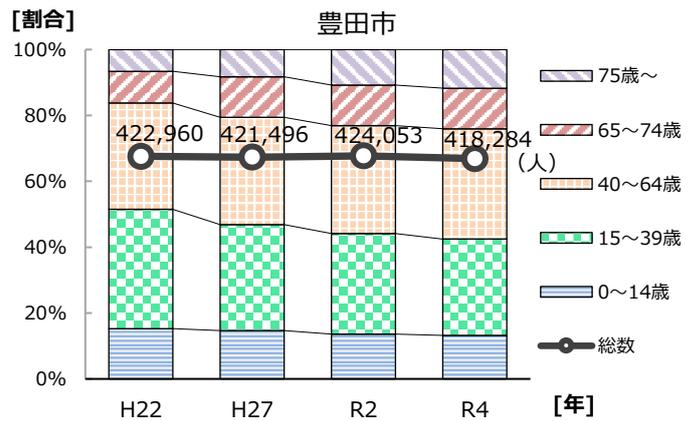
# 上郷中学校区 地域健康カルテ (令和4年度概要版)

## ● 豊田市の情報 ●

①男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)



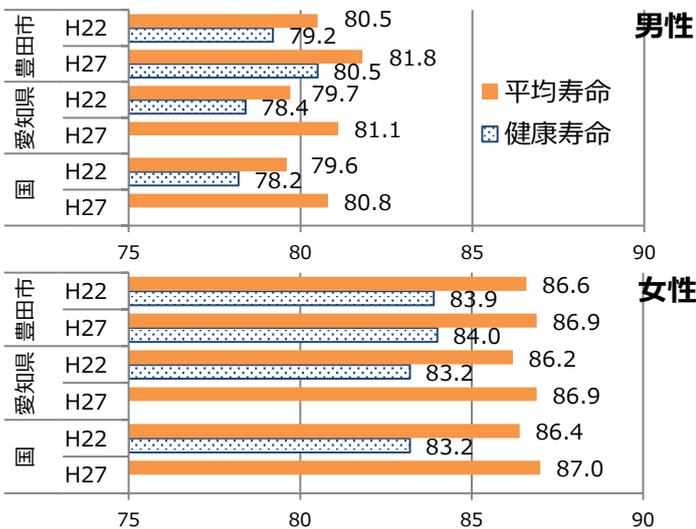
②人口推移 (各年4月1日)



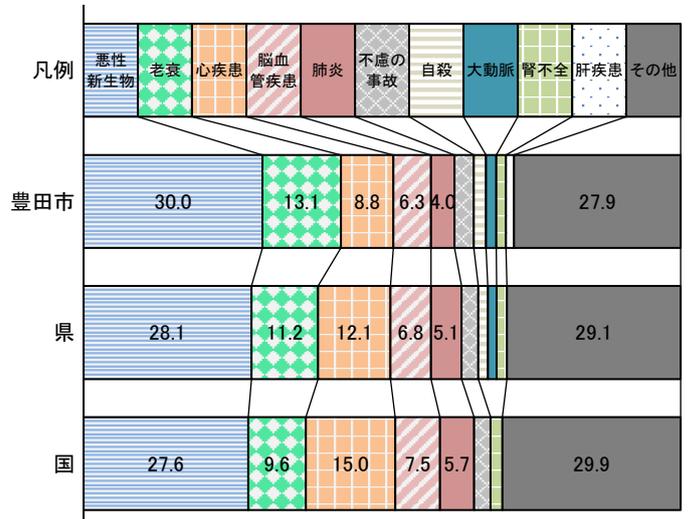
③人口構成 (令和4年4月1日)

・総人口：418,284人 (男性 217,427人、女性 200,857人) ・世帯数：183,262 ・高齢化率：24.0%  
 ・要介護認定率：15.4% (令和4年10月1日) ・外国人：17,540人 (ブラジル、ベトナム、中国他)

④平均寿命と健康寿命

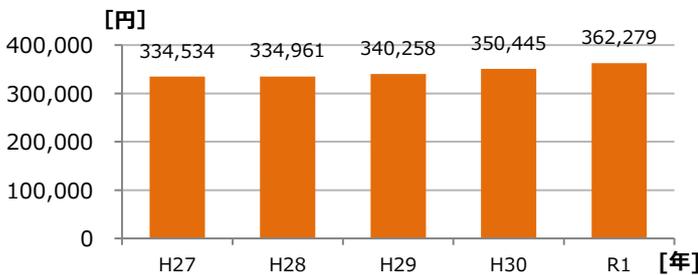


⑤主要死因別順位 (令和2年度)

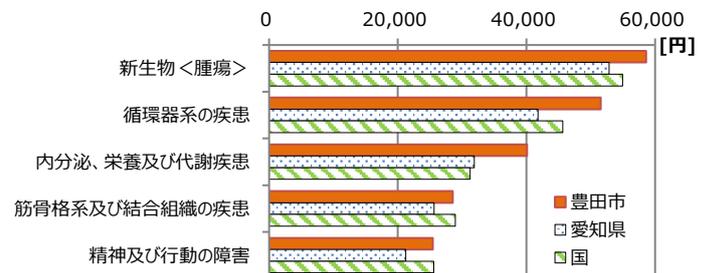


### 国民健康保険 医療費データ

⑥一人当たり医療費 (豊田市)

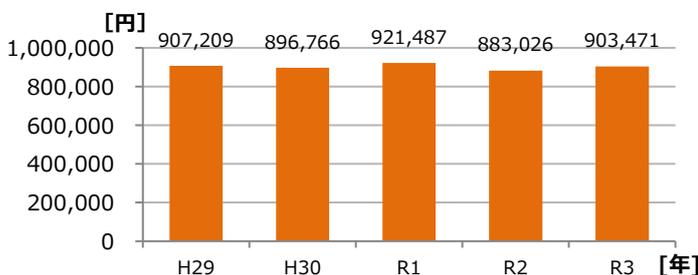


⑦一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)

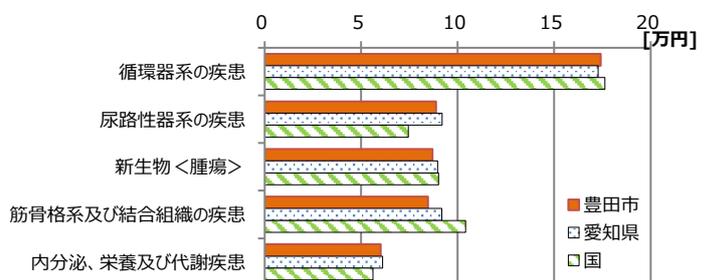


### 後期高齢者医療制度 医療費データ

⑧一人当たり医療費 (豊田市)



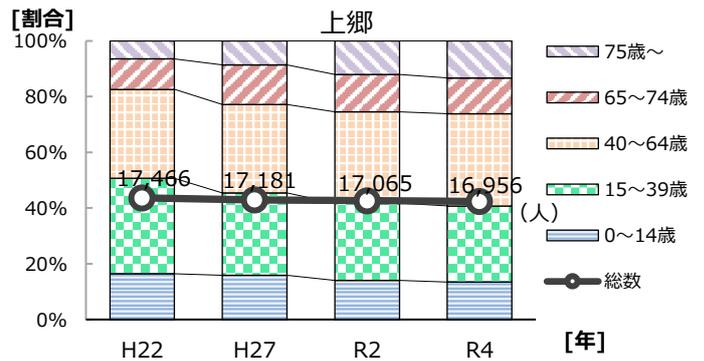
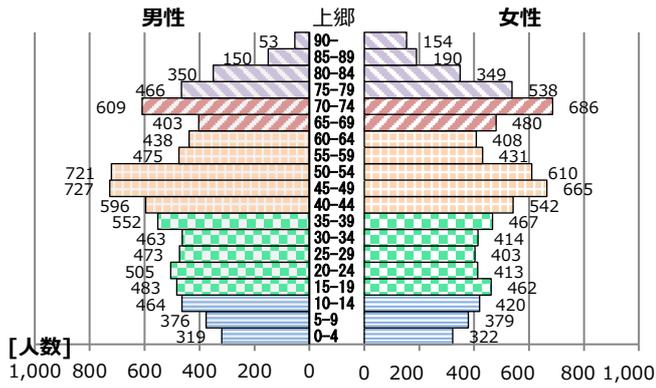
⑨一人当たり医療費疾病別上位5位 (令和3年度)



# ● 上郷地区の情報 ●

⑩男女別年齢階級別人口 (令和4年4月1日)

⑪人口推移 (各年4月1日)



・総人口：16,956人（男性8,623人、女性8,333人） ・世帯数：6,689 ・高齢化率：26.1%  
 ・要介護認定率：14.3%（令和4年10月1日） ・外国人：418人

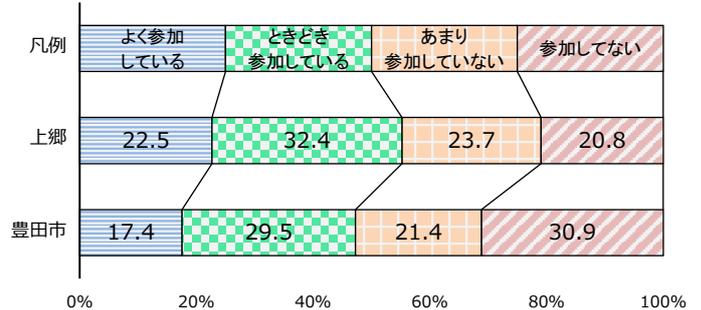
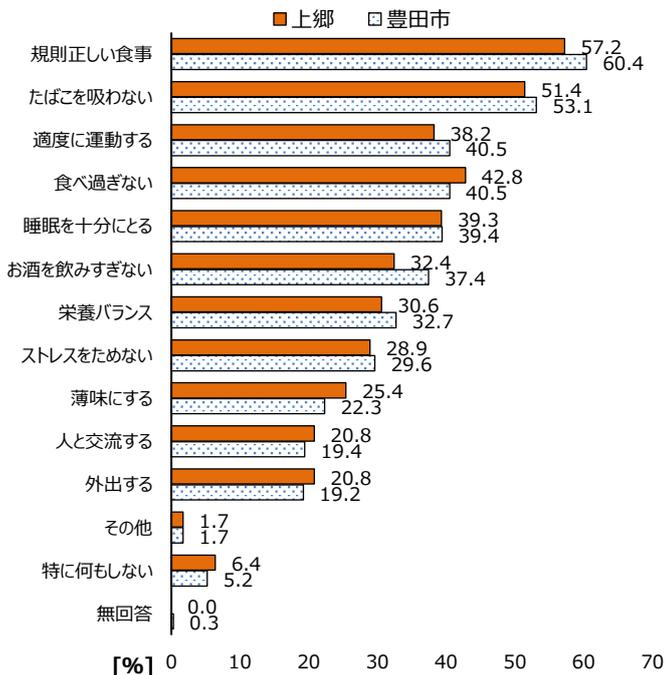
## ⑫地域の組織やその活動 ※新型コロナウイルスの影響で、一部中止の事業もあります

名称	内容等 (令和4年4月)
自治区数	・17自治区
地域課題解決事業	・上郷に住むと健康になる事業(健康増進)、(仮)上郷地域バス利用促進事業(公共交通)
交流館	・自主グループ53グループ(うち健康・スポーツは10グループ) ・交流館講座「kokoro つなぐカフェ」(毎月第4木曜)
ヘルスサポートリーダー	・会員数9人 ・交流館祭にて健康啓発の展示及びリーフレット配布
高齢者クラブ	・12クラブ
ふれあいサロン	・10サロン
元気アップ教室 自主グループ	・自治区：国江、宗定、榎塚西町、上郷大成、福受、上和会、川田
その他	・平成29年度、地域会議とコミュニティ会議と共催で「上郷地区健康づくり意見交換会」を開催、計画作成 ・平成30年度から「上郷地区健康づくり計画」に基づいた事業を推進

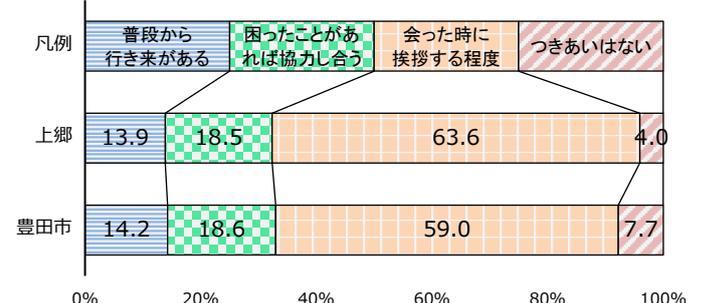
## 市民意識調査(令和3年度)

⑬健康づくりの取組内容

⑭自治区・地域活動への参加状況

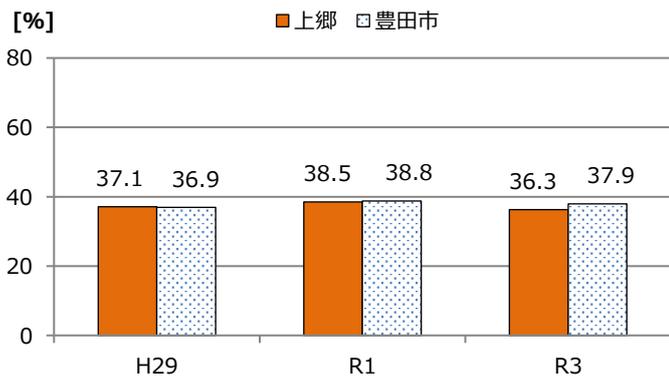


⑮実際の近所づきあい

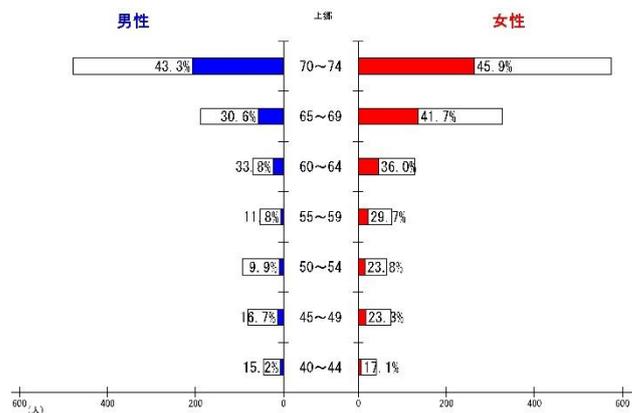


# 豊田市国民健康保険 特定健康診査(令和3年度)

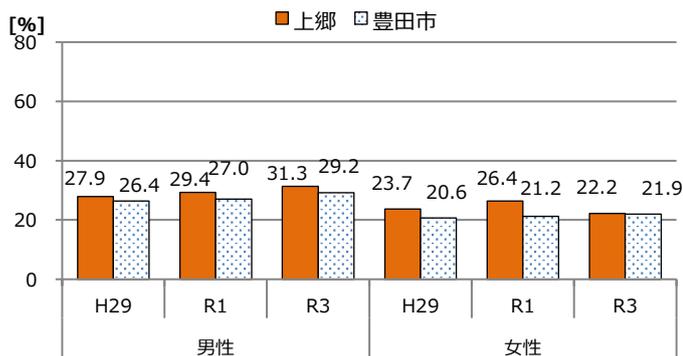
## ⑫ 健診受診率



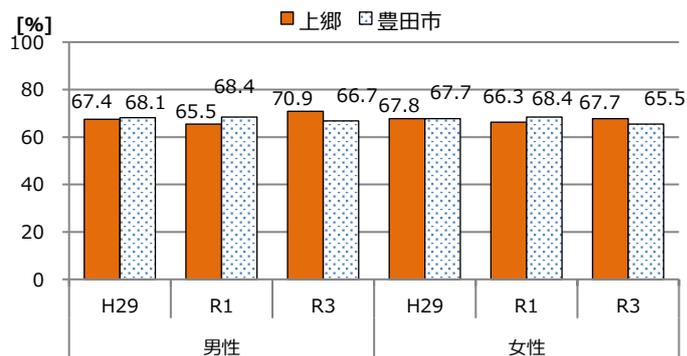
## ⑬ 年齢別受診者数(対象者数 2,238 人,受診者数 812 人)



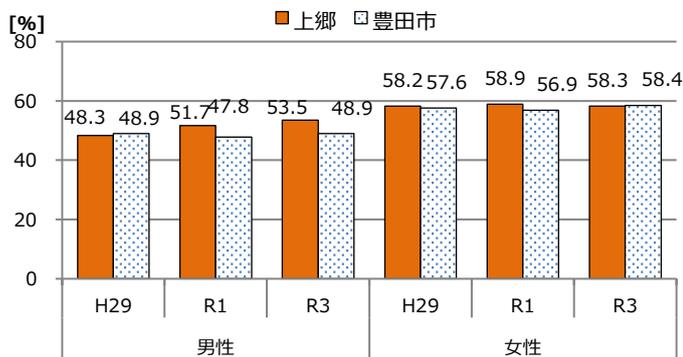
## ⑭ BMI (25 以上)



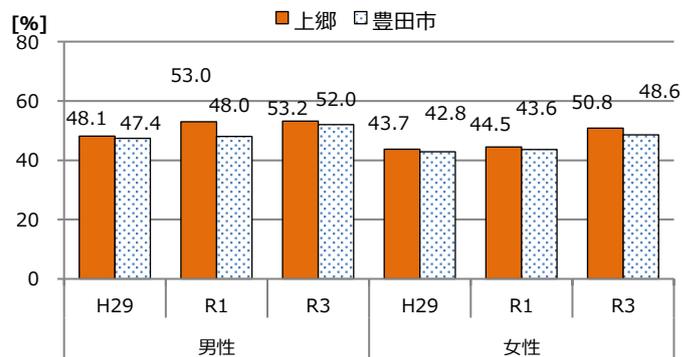
## ⑮ HbA1c (5.6%以上) \*糖尿病の指標の検査項目



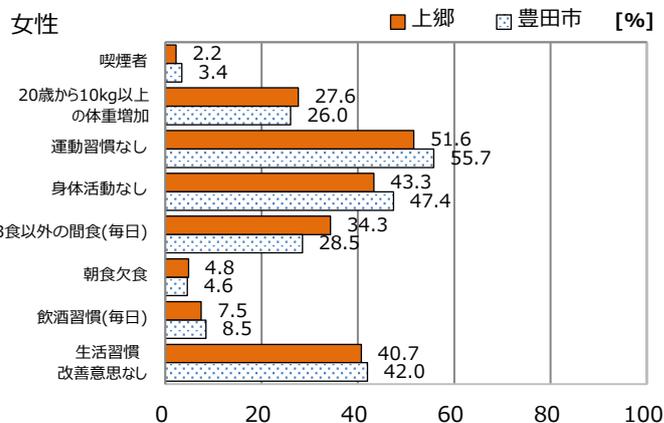
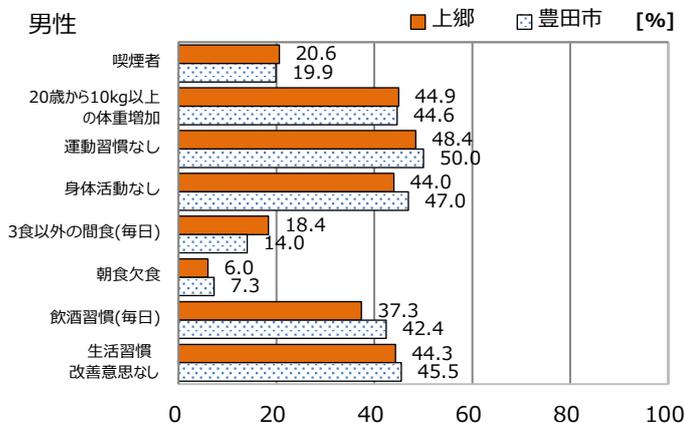
## ⑯ LDL コレステロール (120mg/dl 以上)



## ⑰ 収縮期血圧 (130mmHg 以上)



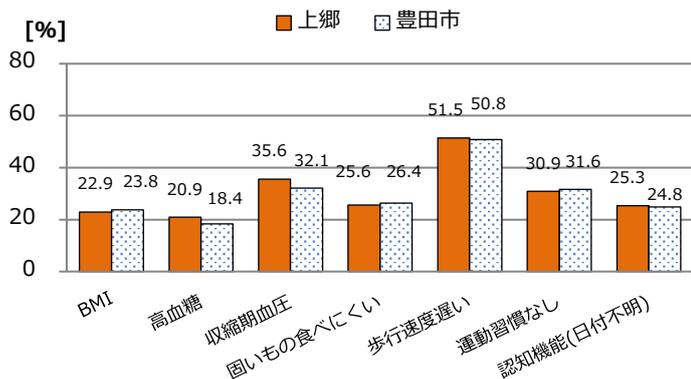
## ⑱ 問診



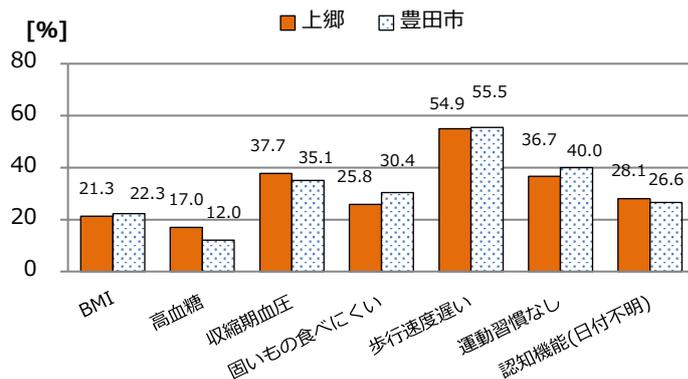
## ⑲ 国と比較して有意に差がある項目 [年齢調整]

国と比べ高い項目	男性	HbA1c、3食以外の間食(毎日)、生活習慣改善意思なし
	女性	HbA1c、3食以外の間食(毎日)、生活習慣改善意思なし
国と比べ低い項目	男性	朝食欠食
	女性	喫煙、運動習慣なし、飲酒習慣(毎日)

㉔男性



㉕女性



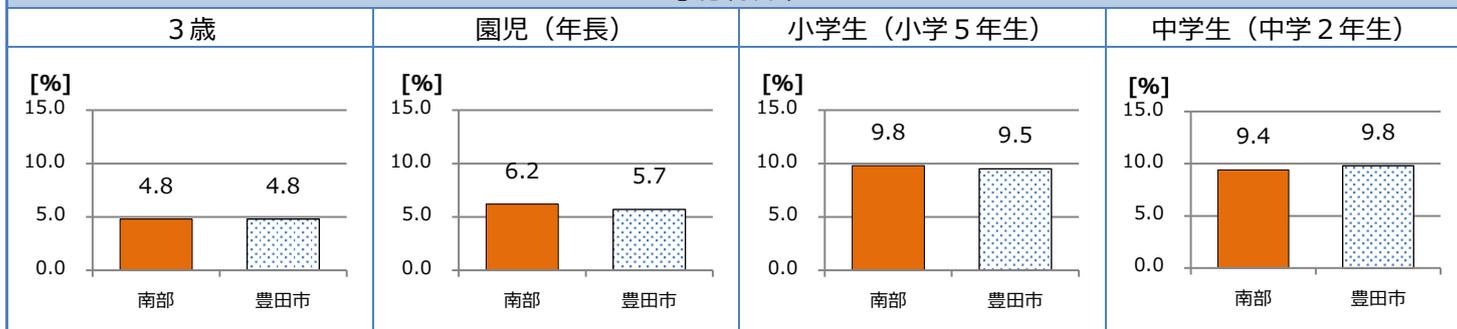
【検査項目の基準】 BMI : 25 以上 高血糖 : HbA1c 6.5%以上 収縮期血圧 : 140mmHg 以上

【地区の受診者数】 735 人(男性 340 人、女性 395 人)

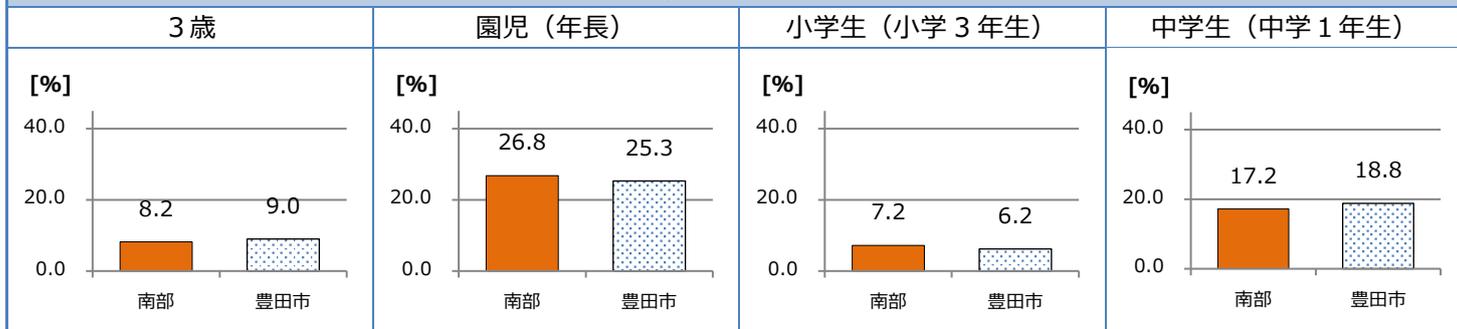
子ども 健康診査(令和3年度)

【南部】 上郷・末野原・高岡・前林・竜神・若園

㉖肥満者率



㉗う歯有者率



データから見る地区の特徴と課題

- ・国民健康保険特定健康診査の受診率は市より低いため、受診勧奨が必要である。
- ・国民健康保険特定健康診査では、年齢調整による国との比較では男女ともにHbA1c、「3食以外の間食(毎日)」、「生活習慣病改善意思なし」の割合が高い。一方、問診項目の「運動習慣なし」「身体活動なし」については市より低い。つまり、生活習慣病発生リスクを軽減するために、運動習慣と合わせて食習慣についても改善につながる啓発や取組を行う必要がある。
- ・高齢化率は市より高い。また後期高齢者医療制度健康診査結果において、男女ともに「高血糖」及び「収縮期血圧」の該当者割合が市より高いことから、元気アップ教室の開催や自主グループ活動において、運動習慣定着や生活習慣見直しに向けた取組が必要である。
- ・市民意識調査の「自治区・地域活動への参加状況」が市より高いため、既存の地域活動に健康づくりの要素を取り入れ、地域ぐるみでの健康づくりを推進していくことが効果的だと考えられる。